

本館

被爆の実相

あの日、立ち上るきのこ雲の下で何があったのか。本館では、被爆者の遺品や被爆の惨状を示す写真や資料を展示し、1945年(昭和20年)8月6日、広島に何が起こったのかを伝えます。 ※展示では大火傷を負った人の写真や遺体の写真などが多数ありますので、ご注意ください。

1 8月6日の惨状



火傷と負傷にあえぐ被爆者
8月6日午前11時ごろ 爆心地から2,270m
千田町三丁目 御幸橋西詰
松重美人撮影 中国新聞社所蔵



人影の石
爆心地から260m 1946年(昭和21年)
松重美人撮影 中国新聞社所蔵

2 放射線による被害



頭髪が抜けた姉と弟
1945年(昭和20年)10月上旬
広島赤十字病院
菊池俊吉撮影 田子はるみ提供

3 魂の叫び



三輪車
爆心地から1,500m
東広島町 鏡谷信男寄贈



三人の中学生の遺品
爆心地から900m 小瀬町
帽子、ベルト 津田蔵吉寄贈
学生服 福岡重春寄贈
ゲートル 上田キヨ寄贈

4 生きる

惨禍の中を生き延びた後も、人々は多くの困難と苦悩に直面しました。家族や友人を失った悲しみに耐え、心身に残る傷や病を抱えながら生きていかなければなりません。



佐々木禎子さんが折った鶴 佐々木繁夫・雅弘寄贈

東館

東館では、「導入展示」、「核兵器の危険性」、「広島への歩み」の3つの展示ゾーンのほか、被爆者証言ビデオコーナーを設置しています。また1階で企画展示、地下1階で新着資料展などを行っています。



3F 導入展示

焦土と化した都市
被爆前後の広島の市街地映像を立体模型に投影します。



3F 核兵器の危険性

1 原子爆弾の開発と投下

2 原子爆弾の脅威

3 核の時代から核兵器廃絶へ向けて



廃墟となった広島
1945年(昭和20年)10月5日 林重男撮影



広島県産業奨励館と原爆ドームの模型(縮尺:1/100)
模型や被爆した瓦にふれることができます。



3F 被爆者証言ビデオコーナー

被爆者による証言を自由に見ることができます。個別ブースもあります。日本語・英語・中国語・韓国語

2F 広島への歩み



4 戦時下の広島と戦争

5 広島への復興、さまざまな支援

6 平和な世界をつくる



路面電車の線路の復旧に従事する人々
1945年(昭和20年)10月
菊池俊吉撮影 田子はるみ提供



メディアテーブル
タッチパネル式の大型情報検索装置です。



平和へのメッセージ
過去に来館されたノーベル平和賞受賞者のメッセージを壁面に投影しています。

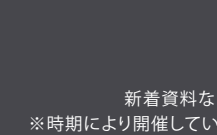
その他の展示やガイドなど



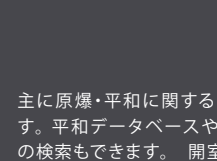
1F 企画展示室
常設展示を補完し、原爆や平和についての理解を深めてもらうため、随時企画展を開催しています。



1F ビデオシアター
原爆記録映画を上映しています。日本語・英語



B1F 特別展示室
新着資料などを展示しています。 ※時期により開催していないこともあります。



B1F 情報資料室
主に原爆・平和に関する図書を公開しています。平和データベースやインターネット情報の検索もできます。 開室時間 9:00~17:00



1F ミュージアムショップ
原爆・平和に関する書籍の他、バッジ、キーホルダー、絵はがき、DVD、Tシャツ、ミニタオル等を取り扱っています。

●音声ガイドの貸出(有料 400円)
(東館1階入口)
常設展示を見学する方に解説機器を貸し出しています。

●ヒロシマピースボランティアによる解説(無料)
(受付時間10:30~14:30 東館1階総合案内)
平和記念資料館の展示解説や平和記念公園内の慰霊碑等の解説を行います。日本語・英語

●被爆体験伝承者による定時講話(無料)
被爆体験伝承者が、被爆者から受け継いだ被爆体験と平和の思いを伝えます。日本語・英語

広島平和記念資料館のあゆみ

- 1945(昭和20年)
8月6日 原子爆弾が広島市中心部の上空600メートルでさく裂し、壊滅的な被害を受ける
- 1949(昭和24年)
8月「広島平和記念都市建設法」が公布、施行
9月 広島市中央公民館に「原爆参考資料陳列室」が設置され、原爆被災資料の公開展示が始まる
- 1952(昭和27年)
3月 市、広島平和記念都市建設計画を決定
- 1955(昭和30年)
6月 平和記念館が開館
8月 平和記念資料館が開館
- 1958(昭和33年)
4~5月 平和記念資料館などを会場として「広島復興大博覧会」が開催される
- 1975(昭和50年)
建物の老朽化と資料の劣化に対応するため初の大規模改修を行い、展示内容を一新
- 1991(平成3年)
8月 二度目の大改修を行い、大型模型や映像機器による展示手法を取り入れる
- 1994(平成6年)
6月 展示・収蔵機能や平和学習の場を充実するため、平和記念館を改築し、「平和記念資料館東館」として開館
- 2006(平成18年)
7月 本館が戦後建築として初めて国の重要文化財に指定される
- 2012(平成24年)
11月 附属展示施設として「シュモールハウス」が広島市中区江波二本松一丁目が開館
- 2014(平成26年)
3月 老朽化が進む本館の保存整備と常設展示の全面的な更新に着手
9月 東館常設展示を閉室
- 2017(平成29年)
4月 東館がリニューアルオープン。模型と映像を組み合わせた展示やタッチパネル式の大型情報検索装置を設置
本館を閉館
- 2019(平成31年)
4月 本館のリニューアル工事を終え、全館リニューアルオープン



利用案内

- 開館時間(最終入館はそれぞれ閉館時刻の30分前)
 - 3月-7月 8:30-18:00
 - 8月 8:30-19:00(8月5・6日は20:00閉館)
 - 9月-11月 8:30-18:00
 - 12月-2月 8:30-17:00
- 休館日 12月30日及び31日
- 常設展示

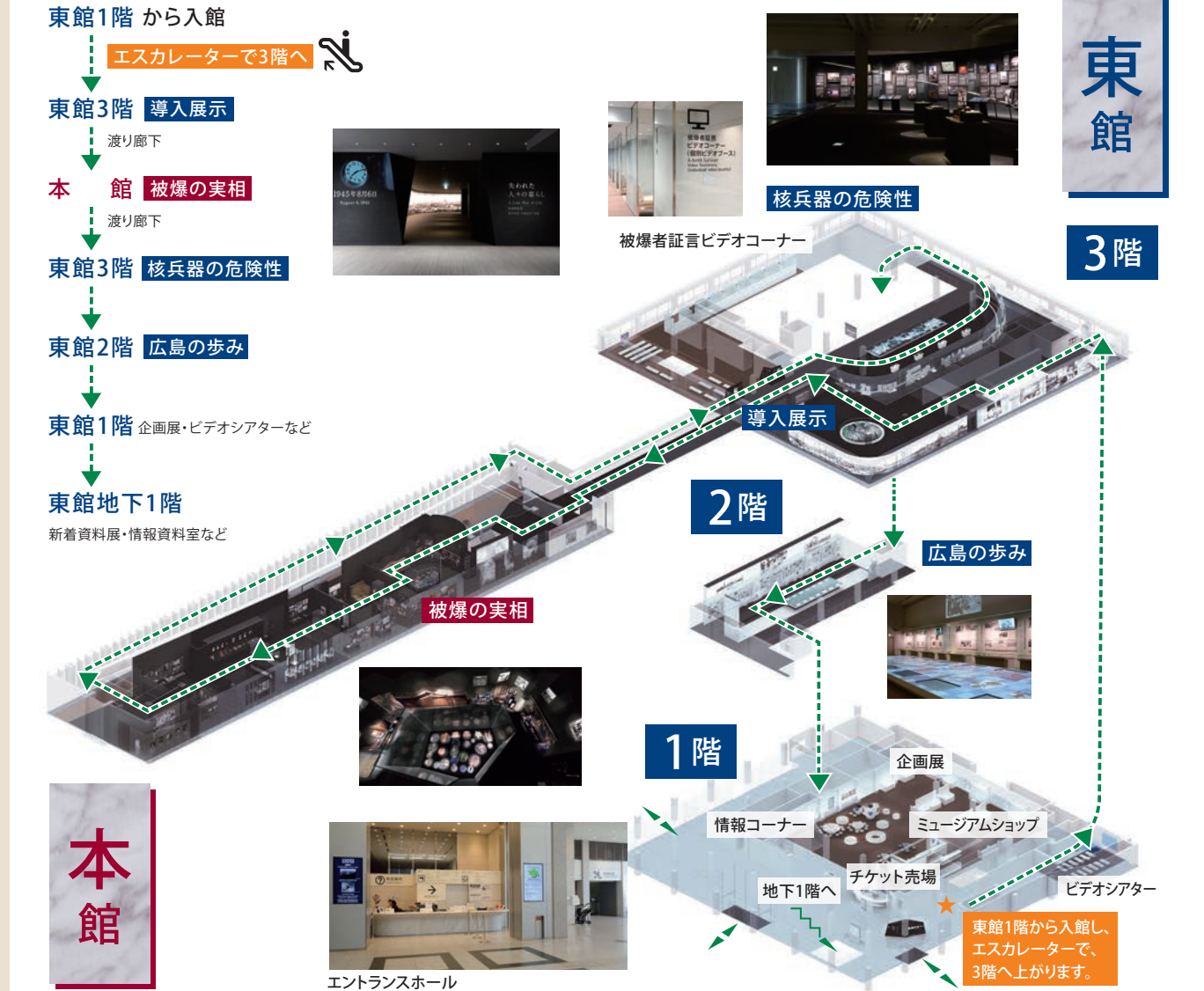
	個人	団体
大人	¥200	¥160(30人以上)
高校生	¥100	無料(20人以上)
中学生以下		無料

- 土曜日は高校生無料(ただし、祝日、春・夏・冬休み期間を除く)
- 学校教育活動で見学する高校生は20人未満でも無料
- 原爆障害者章、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳、特定医療費(指定難病)受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証を提示いただいた場合は無料
- 65歳以上であることを確認できる公的証明書を提示いただいた場合は100円
- 平和学習のご案内
 - 申込み・問合せ専用電話 **082-541-5544**(啓発課:受付時間9時~17時)
 - ・原爆展・平和学習用資料の貸出し(市民が描いた原爆の絵、写真パネル、ポスター、ビデオ、DVDなど)
 - ・修学旅行で広島を訪れた児童・生徒などを対象に、被爆者による体験講話や原爆記録映画の上映を実施

- 交通案内: JR広島駅から約20分
- [バス]
 - ・南口から広島バス吉島方面行(のりば④24系統)で「平和記念公園」下車
 - ・新幹線口から市内循環バスめぐり〜ぶで「平和公園前」下車
- [市内電車]
 - ・紙屋町経由広島港(宇品)行で「袋町」または「中電前」下車
 - ・宮島口・江波行で「原爆ドーム前」下車



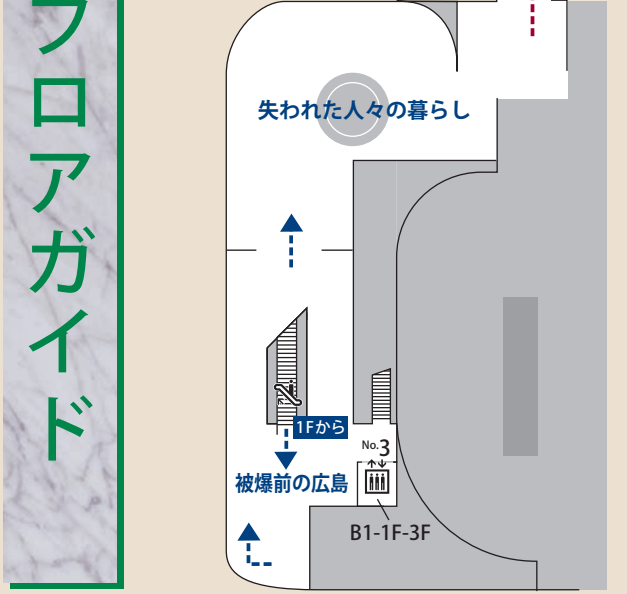
広島平和記念資料館
HIROSHIMA PEACE MEMORIAL MUSEUM
http://hpmuseum.jp/
〒730-0811 広島市中区中島町1番2号
TEL (082) 241-4004 FAX (082) 542-7941



- 東館1階(無料ゾーン)
- ② 総合案内
- チケット売場
- 音声ガイド貸出
- ビデオシアター
- ミュージアムショップ
- 企画展示室



- 東館3階(常設展示) 導入展示



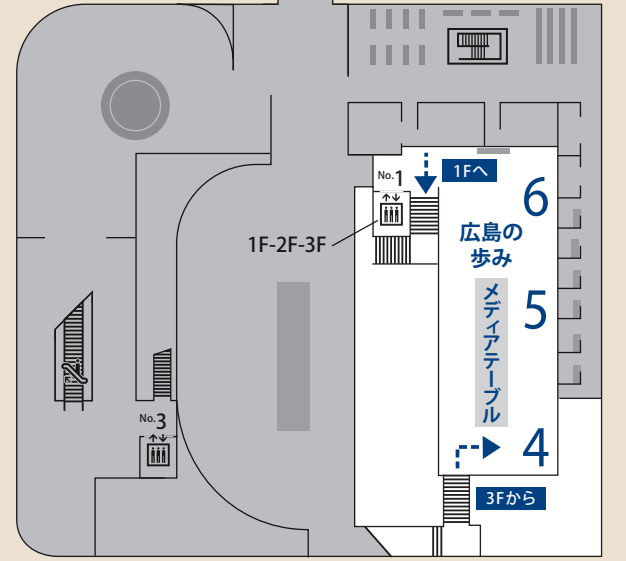
- 本館(常設展示) 被爆の実相



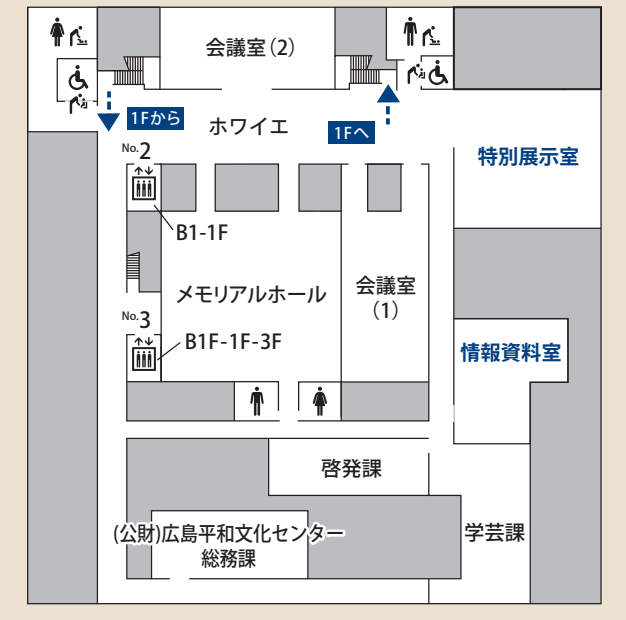
- 東館3階(常設展示) 核兵器の危険性



- 東館2階(常設展示) 広島歩み



- 東館地下1階(無料ゾーン)



- 男性用トイレ
- 女性用トイレ
- 多目的トイレ
- オストメイト
- 大人用介護ベッド
- ベビーシート
- おむつ交換台
- コインロッカー
- 水飲み場
- エスカレーター
- エレベーター

国立広島原爆死没者追悼平和祈念館もご覧ください
(当館から北へ徒歩2分)

